

1. 個別事業に関する質問

4項目

内訳：大野委員長 2項目、渡邊副委員長 2項目

通番	担当課	要覧該当ページ	事業番号	対象事業名	内容	担当課からの回答	委員名
1	地域福祉課・こども家庭支援課	66	53	フードバンク・子ども食堂の支援	フードバンクへの支援、特に助成金支援については、記載がありますが、子ども食堂に関する記載は見受けられませんでした。 実際どのような支援を行っているのか、ご教示ください。	<p>(地域福祉課) 子ども食堂に特化した制度ではありませんが、以下の地域福祉課で支給している助成金・補助金では、子ども食堂も対象となっています。</p> <p>【地域福祉活動助成金】 市民活動を行う団体が実施する地域福祉の増進を目的とする事業に要する経費の一部を助成する。 助成率：対象経費の2/3、上限50万円。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症等の影響に対応する生活困窮者支援活動団体補助金】（令和4・5年度実施事業） コロナ禍における物価高騰の影響による支援ニーズの高まりにより、事業量の増加が認められる生活困窮者支援活動を行う民間団体に事業に要する経費の一部を補助する。 補助率：対象経費の2/3、上限50万円。</p> <p>(こども家庭支援課) 令和5年度に行っている支援としては、 ・ふなばし子ども食堂ネットワーク会議にオブザーバーとして参加 ・公民館施設使用料の減免に関する支援（ふなばし子ども食堂ネットワークからの依頼を受け、市教育委員会に副申書を提出） ・船橋市のホームページでの子ども食堂の周知 以上です。 なお、市から子ども食堂運営団体へ直接助成金の支援は現在行っておりませんが、国や県等より助成金や給付金等の案内があった際には、適宜ふなばし子ども食堂ネットワークを通して周知しております。</p>	大野委員長
2	保育運営課	79	71	保育所職員研修	口腔衛生指導講習会などの実施は大変有意義だと考えます。保育士研修会については、その内容の記載が見受けられませんでした。例えば「不適切保育」など今後法律で改めて禁止される事項などを現任者が習得する場合は本研修にて対応されるのでしょうか。もしくは外部の自主的な研修を利用することでまかなうのでしょうか？ご教示いただけますと幸いです。	<p>保育士研修では、保育内容の質の向上を目的とした研修を行っています。その時々で必要と思われる内容の研修につきましては、コロナ禍以前には、市主催の研修として行ってきましたので、今後もその中で行っていく予定です。 今年度（令和5年度）につきましては、令和5年11月末現在で、「摂食指導研修」や「アレルギー研修会」など、計9回の研修を実施しているところです。 また、あわせて外部の自主研修等の案内も行っていきます。 なお、今年度（令和5年度）の公立保育園においては、「不適切保育」について外部のオンライン研修を利用しました。</p>	大野委員長
3	地域福祉課	24	5	生活支援コーディネーター配置事業	地域福祉課に配置されている地域福祉支援員が積極的に地域行事に参加し、地域の人々と交流する機会を増やすとあるが、具体的にどのように動いているのか。	<p>令和5年度から地域福祉課に新たに配置された社会福祉士2名が地域福祉支援員を担当し、体制強化を図っています。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、行事・事業を再開する地域が増加していることもあり、地区社会福祉協議会をはじめとした地域福祉団体が実施する事業に積極的に参加しています。 地域を訪問した際は、地域の人々の話を聞いたり、交流するなどして地域の実情の把握に努めています。</p>	渡邊副委員長

1. 個別事業に関する質問

4項目

内訳：大野委員長 2項目、渡邊副委員長 2項目

通番	担当課	要覧該当ページ	事業番号	対象事業名	内容	担当課からの回答	委員名
4	市民協働課	40	22	市民活動サポートセンター管理運営事業	「市民活動に関するなんでも相談窓口」は、R4の相談件数が6件と少なく感じる。せっきくの窓口が活用されていないのではないか？PRをどうしているのか。	「市民活動に関するなんでも相談窓口」の周知については、広報いなばし毎月1日号への掲載や、3ヶ月に1回発行する市民活動サポートセンターだより「しみんりょく」に掲載し、サポートセンター利用登録全団体に対して相談窓口のチラシと同封の上送付しています。加えて、同チラシを市民協働課および市民活動サポートセンターの閲覧コーナーに配架しております。更なる利用促進のために、相談結果の周知などを含めたPRの工夫をまいります。	渡邊副委員長